

令和8年度 石川県かかりつけ医等認知症対応力向上研修概要

【目的1】

高齢者等が日頃から受診する診療所の主治医等が、適切な認知症診断を行うための知識や技術を習得し、また、認知症のある方やその家族からの相談を受け、適切なアドバイスができるようになることを目的とします。

【目的2】

事例検討会を通じて、かかりつけ医、看護師、介護支援専門員など様々な職種が連携していくための方法や多職種の支援の考え方を学ぶと共に、地域で認知症のある方を支えていくための医療・介護関係者間の顔の見える関係づくりを行うことを目的とします。

【研修体系】

- 実施主体 石川県
- 協力 石川県医師会・郡市医師会（在宅医療連携グループ）
日本精神科病院協会石川県支部・県介護支援専門員協会
- 講師 認知症疾患医療センター医師、県内精神科病院医師、認知症サポート医等

■カリキュラム

「座学」(90分程度)……認知症の知識や技術を習得するための医師向けの講義
※ 県で年度内に2回程度実施

「地域事例検討会」(120分程度)

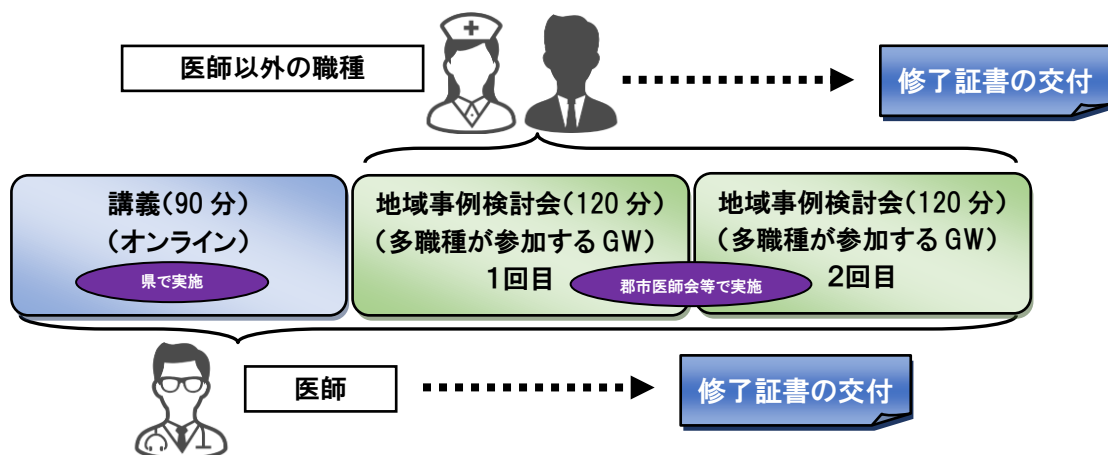
……地域の医師以外の多職種も参加する実際の事例を用いたグループワーク
※ 各郡市医師会（在宅医療連携グループ）において年度内に2回実施

■研修修了者（修了証書交付対象）

医師……年度内に開催する『座学』（1回）・『地域事例検討会』（2回）を受講した方

医師以外……年度内に開催する『地域事例検討会』（2回）を受講した方

※医師以外の方も「座学」を受講できます。



令和8年度石川県かかりつけ医等認知症対応力向上研修 第1回「座学」

日時 令和8年7月27日（月）19：00～21：00

場所 オンライン開催

- 内容 講義1 「精神科における認知症に対する治療計画」
講師 社会福祉法人金沢市民生協会 ときわ病院 院長 内藤 暢茂 先生
- 講義2 「認知症患者を地域で支えるコツ～訪問診療の現場から～」
講師 いりたに内科かかりつけクリニック 院長 入谷 敦 先生
- 講義3 「認知症の早期診断・早期介入の意義」
講師 金沢大学附属病院脳神経内科 准教授 篠原 もえ子 先生